

環境デザイン学専攻	研究分野	建築計画・設計	Lab. ID ED12
研究室Webサイト			
研究課題の概要			
<p>21世紀に入り、日本の建築・都市環境をとりまく状況は大きく変化しました。具体的には、人口減少、少子・高齢化、スクラップ&ビルドからストック&マネジメント、地域特性の重視等です。これらの変化に対して、どのような建築・都市環境を整備していけばよいのでしょうか？私たちはこの問題意識に基づいて、人口増加・都市拡張の時代に確立された理論や方法論が通用しなくなっている分野に対する都市と建築の計画理論を再構築することを目標として、建築計画的視点からの現象分析とそれに基づく建築の具体的提案を組み合わせた「リサーチ&デザイン」を追求しています。</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>博士前期(修士)課程および博士後期(博士)課程は基本的に研究室をベースとした活動となります。研究室では、各学生の希望や得意分野などにあわせた研究テーマが設定され、修士論文又は博士論文としてまとめていきます。</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>毎週開催される研究室ゼミでは各自が研究の進捗状況を報告します(4年)。論文の読み方や発表時のパワーポイントの作り方なども丁寧に教えてもらえるので力が付きます(M2)。研究室での時間の使い方は基本的に自由で、研究室で講義の課題や勉強などをする事も可能です(4年)。研究室は一人一台の机とパソコンが与えられている学生居室と作業室に分かれています(M2)。各自のパソコンではAdobe系のソフト(イラストレーター・フォトショップなど)も使えます(M2)。また作業室は広々と模型製作ができるスペースがあり(4年)、建築雑誌や都市計画に関する豊富な資料も陳列されており、とても環境に恵まれた中で自分の研究を進めることができます(M2)。</p>			
教員からのメッセージ			
<p>本研究室では高齢者の生活行動範囲に関するヒアリング調査等、実社会での調査も行います。これは研究室のメンバー全員で行います。そのため本研究室の基本的指針は次の5つです。「1.あいさつする,2.メール即レス,3.すぐやる,4.みんなで協力しあう,5.足で見て手で考えよ」</p>			
最近(過去3年間+必要に応じて)の修士論文題目			
修了年月	タイトル		
2018.3	要支援・要介護高齢者の地理的分布の将来推計手法に関する研究		
2018.3	将来人口推計に基づく公共施設の縮減シミュレーション手法に関する研究		
2018.3	全国二次医療圏毎の在宅看取り需要数の将来推計		
2017.3	地方三都市における高齢者の生活圏域の実態の横断的比較と圏域設定の妥当性検討		
2017.3	街路と惣構から見た歴史都市金沢の構造デザイン		
2016.3	ある地方都市の全福祉行政圏域における高齢者の日常生活圏域の実態に関する研究		
2016.3	先行自治体による公共施設再編計画の構成と内容に関する考察		
2014.3	—中学校区を基本とする日常生活圏域設定の妥当性検討—地方中核都市における行政単位と高齢者の行動実態との比較考察—		
2014.3	高齢者の加齢変化に対応した地域居住サポート環境の変化とその統合モデル化の試み		
2014.3	惣構沿いの時空間的特性からみた金沢旧市街地の都市環境の持続性と変容性に関する研究		
最近(過去3年間+必要に応じて)の博士論文題目			
修了年月	タイトル		
研究室連絡先メールアドレス			
西野辰哉 tan378@se.kanazawa-u.ac.jp			